


世界ベテランフェンシング選手権大会 報告

2024年世界ベテラン選手権は、10月11日から17日まで、UAE・DubaiのHamdan Sports Complexで開催されました。参加者数は58か国736人、延べ855人（個人/男子514名、女子330名・チーム/男子40、女子28）となりました。最も多くのメダル獲得したのはアメリカで26個(金9、銀4、銅13)、次いでドイツ11個(金4、銀2、銅5)、フランスが12個(金3、銀4、銅5)でした。全体では、14カ国が少なくとも1つのメダルを獲得しました。日本チームは、男子29名、女子15名が参加し、初参加の選手は12名でした。個人戦では第3日の女子フルーレ70+で天利かをる選手が銀メダルを獲得し、第6日に男子エペ70+で井手英一選手が銀メダルを獲得しました。団体戦では期待された男子フルーレは惜しくも4位でした。また、男子サーブル団体戦は準々決勝で敗れたものの優勝したUSAを27-30と今一步まで追い詰めました。

大会結果(詳細) <https://www.fencingtimelive.com/tournaments/eventSchedule/D22419660A364A42B5C5FFFB805460BA#today>

【男子】 個人戦・団体戦成績												
団体戦	種目/カテゴリー	氏名	所属	個人結果	種目/カテゴリー	氏名	所属	個人結果	種目/カテゴリー	氏名	所属	個人結果
6位 (11カ国)	M50+ サーブル (55名)	☆菊地 正晃	ダウンタウン フェンシング アカデミー	18位	M60+ サーブル (44名)	☆西嶋慶文	フェンシング ステージ	18位	M70+ サーブル (37名)	☆宮坂 武美	目黒クラブ	18位
		水谷 仁	三田フェンシングクラブ	22位		☆佐藤 保	八王子 フェンシング クラブ	28位		宇野哲司	NEXUS FENCING CLUB	22位
		☆森本浩司	みなと フェンシングクラブ	23位		永井 久史	コスモ フェンシングクラブ	30位		☆喜多濃敏雄	八王子 フェンシングクラブ	25位
		中尾和憲	NEXUS FENCING CLUB	47位T				青木道孝		鎌倉フェンシング協会	33位	
4位 (10カ国)	M50+ フルーレ (58名)	窪田 歩	ダウンタウン フェンシング アカデミー	20位T	M60+ フルーレ (50名)	☆竹田 直紀	東京フェンシングスクール	14位	M70+ フルーレ (43名)	☆山崎 豊	東京YMCA フェンシングクラブ	8位
		☆西塚康司	横浜フェンサーズ	24位		☆梅沢 賢一	NEXUS FENCING CLUB	26位T		☆井手 英一	三田フェンシングクラブ	11位
		☆近藤 昌義	ダウンタウン フェンシング アカデミー	30位		藤井健史	りっちゃん フェンシング クラブ	26位T		蛭川 浩一	東京YMCA フェンシングクラブ	22位T
		菊地 正晃	ダウンタウン フェンシング アカデミー	31位		山瀬晴義	ダウンタウン フェンシング アカデミー	38位		日下 謙一	世田谷フェンシングクラブ	棄権
9位 (19カ国)	M50+ エペ (89名)	☆持田彰久	大分クラブ	18位	M60+ エペ (82名)	☆宮本朝廷	宮本至誠 剣術道場	36位	M70+ エペ (56名)	☆井手 英一	三田フェンシングクラブ	2位
		☆片島 章徳	神戸クラブ	41位		☆菅 喜嗣	MNHフェンシングクラブ	47位		☆山崎 豊	東京YMCA フェンシングクラブ	9位
		高橋 優	神奈川クラブ	50位		岩松 敬	東京YMCA フェンシングクラブ	57位		蛭川 浩一	東京YMCA フェンシングクラブ	34位
		澤藤忠輔	神奈川クラブ	58位		藤井健史	りっちゃん フェンシング クラブ	59位		日下 謙一	世田谷フェンシングクラブ	棄権

☆団体戦出場メンバー (註: 団体戦は各年齢カテゴリー3人×2試合=6試合を行う。30点先取で勝敗を決定。選手交替は1名のみ可。)

【女子】 個人戦・団体戦成績												
団体戦	種目/カテゴリー	氏名	所属	個人結果	種目/カテゴリー	氏名	所属	個人結果	種目/カテゴリー	氏名	所属	個人結果
6位 (9カ国)	W50+ サーブル (35名)	☆光井 亜也子	ダウンタウン フェンシング アカデミー	14位	W60+ サーブル (25名)	☆Derose京子	ダウンタウン フェンシング アカデミー	15位	W70+ サーブル (22名)	☆天利 かをる	ダウンタウン フェンシング アカデミー	5位
		☆嶋田 麻子	NEXUS FENCING CLUB	19位		☆石黒かおる	ダウンタウン フェンシング アカデミー	25位		☆竹生淑子	横浜フェンサーズ	12位
7位 (7カ国)	W50+ フルーレ (49名)	☆佐藤恭子	気仙沼Jr フェンシングクラブ	27位	W60+ フルーレ (28名)	☆齋 実希子	東京YMCA フェンシング クラブ	22位	W70+ フルーレ (25名)	☆天利かをる	ダウンタウン フェンシング アカデミー	2位
		☆光井 亜也子	ダウンタウン フェンシング アカデミー	28位		☆梅沢 セイ	NEXUS FENCING CLUB	24位		☆村山芳美	東京YMCA フェンシングクラブ	19位
		嶋田 麻子	NEXUS FENCING CLUB	41位								
		中山一美	岡山クラブ	45位								
11位 (12カ国)	W50+ エペ (64名)	嶋田 麻子	NEXUS FENCING CLUB	29位	W60+ エペ (45名)	井口 加奈子	白金クロス	38位	W70+ エペ (37名)	☆天利 かをる	ダウンタウン フェンシング アカデミー	10位
		☆光井 亜也子	ダウンタウン フェンシング アカデミー	39位		横川英恵	NEXUS FENCING CLUB	43位		村山芳美	東京YMCA フェンシングクラブ	25位
		☆武田江梨花	東京YMCA フェンシングクラブ	41位		☆齋 実希子	東京YMCA フェンシングクラブ	44位		☆矢野由貴子	東京YMCA フェンシングクラブ	36位
		富 陽子	横浜フェンサーズ	43位								

☆団体戦出場メンバー

国別メダル獲得数	Gold	Silver	Bronze		Gold	Silver	Bronze
	USA	9	4	13	JPN	0	2
GER	4	2	5	NDL	0	1	0
FRA	3	4	5	POL	0	0	2
ITA	2	3	6	AUT	0	0	2
GBR	2	3	4	CRO	0	0	1
AUS	1	2	1	SWE	0	0	1
SUI	1	1	0	AIN	1	2	1
FIN	1	0	1				

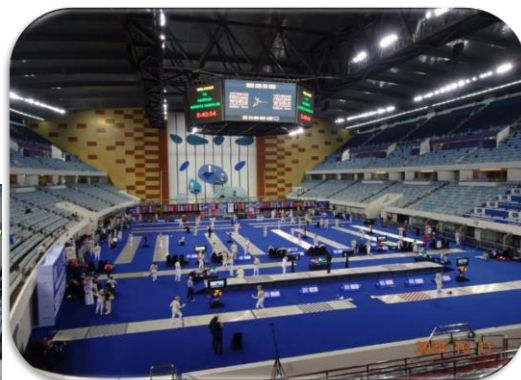
2025年はチュニジアで開催されます

- ◇個人戦は新たに40+が始まります
- ◇団体戦はベテラン (40+&50+) と グランドベテラン (60+&70+) の予定

大会の様子は 下記からご覧いただけます

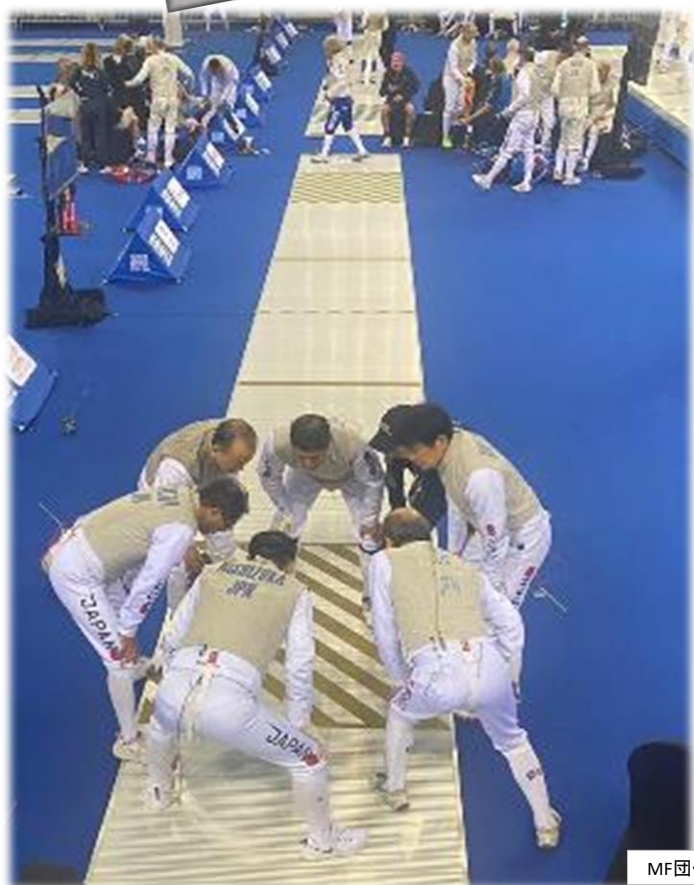
公式サイト
youtube

[Veterans World Championships](#)
[Dubai 2024 Veterans WCH Day07 - Daily Commentary Feed](#)



MS団体戦

検査マーク



MS 50+個人戦



MF団体3位決定戦



ME70+決勝



2024 10 13



【2024世界ベテランフェンシング選手権大会を振り返って】

今年の世界ベテラン選手権は、世界有数の観光都市であり、中東の金融センターと呼ばれるUAEのドバイで初めての開催となりました。会場までは市内からタクシーで20～30分かかります。近未来的な建造物が立ち並ぶ街並みを抜け、しばらくすると、突如、砂漠の中に、巨大なドーム型の競技場が現れます。競技場内は、外気の暑さから一変して、やや寒いくらいで、体調管理に気を配らなければならない面もありました。

さて、昨年はUSAが圧倒的な成績を修めましたが、今年も9個の金メダルを含む26個のメダルを獲得しました。特にサーブルでは金メダル5個を含む14個のメダルを獲得しています。

今年の日本チームは、全日本ベテラン選手権を含む3回の選考会を経て、3種目の合宿と3回の合同練習会を行なうなど例年にも増して、準備を重ね大会に臨みました。結果は銀メダル2つを獲得しましたが、目標に届いたとは言い難いと思います。各選手とも、全般的によく戦っていますが、競り合いで敗れたり、逆転されたり、スピードや力技にやられたりと、戦術面やメンタル、不慣れな欧米選手対策など課題が浮き彫りになりました。

そのような中、メダルを獲得した天利選手の本戦までの取り組み方や井手選手の1本勝負を3試合制しての決勝進出など、参考になると思います。一方、私たちは生涯スポーツとして「いつでも、どこでも、誰でも・・・」さらに「いつまでも」フェンシングができるという環境づくりとその実践をテーマに活動しています。今大会も多くの初出場選手がいます。ベテラン競技者の広がりを実感しながら、これからも世界各国の友人たちと良好な関係を大切にしていきたいと思っています。



3つの要因

メダル獲得を目指して

今年70+カテゴリーでのデビュー戦でしたのでフルーレ、サーブルの優勝を目標に挙げて、練習も倍以上に増やして準備し、出場種目も3種目の個人と団体6種目出場という今までにないチャレンジをしました。

私は60歳になってから膝半月板損傷や、座骨神経痛を発症し、毎年出場していても良い成績は出せませんでした。今まで個人戦で銅メダル5個を獲得しましたがほとんど50代の時です。今回のフルーレは予選プールでとても緊張してしまい最初に2敗しましたが沢山のフェンシング仲間にはげまされ応援して頂いて1回も勝った事がなかったアメリカのStarksに準々決勝で初めて勝ち決勝ピストに立てました。

優勝という目標は果たせませんでした。好成績の要因を3つ上げてみます。一つは昨年の春に座骨神経痛が回復したのをきっかけに週2回、パーソナルトレーナーに付き筋トレに取り組みました。特に力を入れたのが内転筋とハムストリングスの強化で、これにより膝の痛みが軽減され身体のバランスが良くなりフェンシングの動きが楽になってきました。二つ目は、DFAの近藤コーチとネクサスの永野コーチのレッスンを継続した事です。三つ目はベテラン合宿です。合宿でのコーチの指導、指摘によって新しい気付きに出会えた事は大きな力になりました。

合宿に参加されたベテランフェンサーの方たちも積極的に新しいフェンシングの知識を持ち帰りたいという意欲がありました。合同練習会や合宿に参加するベテランフェンサーが増えればレベルアップが出来ると思いました。年々世界のレベルが上がり団体での勝ちが難しくなっています。そのためにも同じ事を繰り返すのではなく新しい知識を求めて、色々なコーチに出会い、沢山のフェンサーと剣を交えて

年齢を重ねても前の年より上手になりたいと思っ練習したいと思います。

ダウNTOWNフェンシングクラブ 天利かをる



個人戦 10個目のmedal

ドバイ大会に参加された皆さまお疲れ様でした。また日本選手団の取り纏め、準備等にあられた皆様に感謝申し上げます。

私は、22回目の参加となりましたが、久しぶりにエペのメダルを獲得できたのは幸運でした。(前回は70歳の時で7年前)。これで個人戦での獲得メダルは合計10個になりました。フルーレ(金2、銀1、銅4)よりエペ(銀3)が少ないですが、エペのメダルの価値は数以上ではないかと思っます。

世界ベテランも規模が拡大するにつれて年々格上げされて、今年FIEのHPで同時中継されるまでになりましたが、私には20数年前の小さな大会で閉会式の夜に各国の選手全員が参加して和気あいあいとパーティーを楽しんだ頃が懐かしく感じられます。

ベテラン・フェンシングの醍醐味は勝ち負けだけでなく、同好の士が集まってスポーツを通じて人生をエンジョイするところにあるのではないのでしょうか。

これからもそんなベテラン・フェンサーが益々増えていくよう願っています。

三田フェンシングクラブ 井手英一





28年ぶりに復帰

世界ベテランフェンシング選手権大会に初参加しました。

FJEの関係者、一緒に参加した皆様に助けていただき、怪我もなく無事に試合を終えることができました。今年の2月から28年ぶりに練習を再開して怪我もありながらもなんとか出場を果たすことができました。個人戦では36位という成績でしたが今の練習量からして、満足した結果でした。この大会で一番感じたことは、年齢を重ねた選手たちが、ピストの上で真剣に戦い合い、お互いを尊重して称え合う姿を拝見し、この場に自分も選手として戦ったことに感謝の気持ちで一杯です。

これからも成績に捕らわれず、自分の可能性を信じて稽古を重ね、自分と向き合える大切な場所としていきたいと改めて思いました。

宮本至誠剣術道場 宮本朝廷（1993年度全日本選手権エペ個人優勝）



学ぶことの多い大会

アジアベテランには何度か参加していましたが、今回初めて世界ベテランに参加しました。まず感じたのは、アジアと世界は全然違うということ。参加者数もさることながら、選手一人一人のレベルが高く、予選プールで2勝できたのがラッキーとさえ思うくらいでした。また、技術面だけでなく、勝つことに対する意識もとても高く、終始圧倒されたまま終わってしまったという感じでした。

しかしピスト上では厳しい顔つきの選手たちも、試合が終われば皆さん笑顔で会話していて、その様子がとても印象的でした。私は遠巻きに眺めているだけでしたが、また参加できることがあれば、今度は積極的に声をかけて、色々な国の選手たちと交流したいです。試合結果は残念なものでしたが、学ぶことが多く、悔しさを吹き飛ばすくらい良い刺激を受けた大会でした。

また、普段はお世話になってばかりですが、今回はJAPANジャージの発送作業のお手伝いをしました。大会参加に向けて、代表選手でありながら多くの方々が、エントリーから派遣までの手続き業務を分担しています。私も少しはお役に立てたら幸いです。今大会に参加するにあたり、協会事務局はじめ、いろいろと面倒を見ていただいた関係の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

東京YMCAフェンシングクラブ 武田江梨花



チャレンジの連続

多くの方に助けていただき、世界大会に出場出来ました。ありがとうございます。

半年前、自分が日本代表でフルレ個人の選手として、ドバイで試合をするとは、夢にも思っていませんでした。20代の頃、50歳以上の方が出られる世界ベテラン大会があることを何かで知って、いつか、私も出たいと思っていました。

実際に、その年代になった時には、フェンシングとは、無縁の生活をしていました。それが、不意に去年思い出し、試合に出てみたいと思いました。

今回、全てが初めてのことで、チャレンジの連続でした。試合に出場する手続き、渡航手続き、武器検に関する事、練習、そのために生活や時間の工夫、体調管理、日々何事もなく、無事に過ぎることのありがたさを実感しました。

岡山での時間をやり切った時には、はやく試合に出たいとワクワクする気持ちにもなりました。無事、エントリー出来た時には、本当にホッとしました。

ところが、試合当日、ピストに向かったら、急な変更があり、プールが変わっていました。それも、「あ～世界大会ならではかな」と、思いました。

この大会は、未勝利でしたが、家族の前で今の私の全力でチャレンジする姿を見せる事が出来ました。夢の様な時間でした。そして、日本をはじめ世界の方々のプレーを間近に見ることができ、それも幸せな時間でした。

改めて、ご縁のあった方々、本当にありがとうございます。

岡山クラブ 中山一美

初



The・神奈川





次の相手は
オリンピックの
金メダリストだよ～



女子サーブル

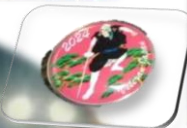


POLのATANASSOW選手、身長2m超！



コーチです！

2013年フルーレ、2015年エペで決勝を戦ったハンガリーのPAPPさん、久しぶりの再会でした・・・



気仙沼応援団！



うさ子のリーダーです



かぶり物はうさこ(兎)ですが、心は虎です。



最終日 エペメンバー



男子サーブルメンバー



Uber待ち

Gala Dinner

第4日競技終了後に、各国選手、大会役員などが一堂に会し、ガラディナーが開催されました。

参加回数10回、15回、20回の表彰も行なわれ、日本からは、宮坂武美氏と矢野由貴子氏が10回出場の表彰を受賞しました。



2009年のモスクワ大会

でデビューして以来15年が経過今回は10回目の出場となりました。気づけばメンバーも入れ替わり同期のレジェンド井手英一さんと私が男子の最年長になっていました。今回初出場の皆さんが予選プールで軽く1勝を上げる姿に驚いています！何せ私が初勝利を上げたのは3回目の出場の時でしたから。

私のフェンシング歴は高校・大学の7年間でその後40年間のブランクがありました。定年後、趣味のゴルフだけでは時間がつぶせないと考え学生時代お世話になったTFSを訪ねました。約半年通ってやっとフルーレを思い出した感じでした！コーチは日本代表コーチのそうそうたるメンバーでした。でも私の本職のサーブルはTFSでは、やっていなくて、その後母校をはじめ各所のクラブを転戦しました。しかし、電気剣になり、ルールが変わったサーブルはなかなか難しいものがあり今なお苦しんでおります。現在所属の目黒クラブは、明大OBで今年1月に亡くなった石田勝則先輩が立ち上げたクラブです。幼稚園児にスポーツチャンバラを教えて小学生以上になったらいきなりサーブルを習わせるという画期的なクラブでした。コロナ禍でチャンバラが出来なくなり現在もまだ中断しています。

さてドバイでの戦績は昨年を下回る結果で終わりました。団体戦もメンバーの足を引っ張る不甲斐なさで申し訳なくしております。

恒例のガラパーティーは、競馬場に隣接するメイダンホテルで開催されました。日程と場所の問題から日本の参加は5人とどまりましたが、私は10回目の出場記念のディプロマの授与があるということでお礼のスピーチを英語で考えていました。残念ながら時間の都合か、割愛されてしまいました。今年は母校の立教大学が54年ぶりの3種目一部昇格を果たし、私はゴルフでエイジシュートを達成するなどあって、感慨深い一年になりました。皆さん健康に留意され来年の世界ベテラン・チュニジア大会を目指して頑張りましょう！



初参加は、2006年イギリス大会です。勝つのは難しいと思いましたが1勝しました。
(最年長) 東京YMCA・FC矢野由貴子



アラブの人ではありません。日本人選手です。